

## 第2章 教育目標達成への取組

### 1 幼児教育の充実

#### (1) 幼児教育の充実

幼児期において、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために、幼稚園教育の充実に努めるとともに、幼児期からの家庭教育の大切さを広く啓発し、子育てに悩む保護者の支援に努める。

平成30年3月実施の幼稚園教育要領の改訂にある、幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児の終わりまでに育ってほしい姿」についても、実践を踏まえて取り組んでいく。

#### ■市立幼稚園の現状

明治20年の旧熊本幼稚園の創立に始まり、戦後8園となる。昭和58年に旧熊本幼稚園と旧五福幼稚園が統合され、7園（碩台幼稚園・一新幼稚園・向山幼稚園・古町幼稚園・川尻幼稚園・楠幼稚園・熊本五福幼稚園）となった。平成4年度から3・4・5歳児の3年保育を始め、平成6年度から全園で実施している。平成22年3月の合併により、隈庄幼稚園が加わり8園となった。

また、平成27年度からスタートした国の子ども・子育て支援新制度にあわせて施設型給付の幼稚園へ移行するとともに、保育料について世帯所得に応じたものとなるよう改定を行った。

平成28年熊本地震で住家が半壊以上の被災をされた世帯へ平成28年度、29年度の保育料減免を実施した。

平成30年3月末で古町幼稚園と熊本五福幼稚園が閉園し6園となった。

令和元年（2019年）の園児数は、282人（5月1日現在）であり、年々減少している。社会の変化と共に共働き家庭が増加し、保育時間、送迎、給食など多様な現状への対応が必要である。

#### ■市立幼稚園基本計画

##### ○平成27年度の取組

特別支援教育の推進、公私含めた幼稚園教諭等の資質向上や幼・小接続の取組の推進等の幼稚園教育をリードする「コア幼稚園」としての機能強化、平成30年度の古町幼稚園・熊本五福幼稚園の閉園と民間移譲の内容などを含む「熊本市立幼稚園基本計画」を策定した。

##### ○平成28年度の取組

「コア幼稚園」として、具体的な取組を推進するとともに、民間移譲に向けた公募を行い、熊本五福幼稚園については、学校法人熊本YMCA学園を引受法人として決定した。（古町幼稚園については、応募がなかったため、平成29年度に再募集を行うこととした。）

##### ○平成29年度の取組

古町幼稚園の引受法人の再募集を実施し、学校法人グリーンコープを引受法人として決定した。古町幼稚園・熊本五福幼稚園において、民間移譲に向けた合同保育を実施し、平成30年3月を以って閉園した。

幼小接続の取組として、接続カリキュラムを作成し、熊本市内の小学校・幼稚園に配付し、熊本市のホームページにも掲載し、活用を促している。

##### ○平成30年度の取組

古町幼稚園・熊本五福幼稚園において平成30年4月に民間移譲を完了し、熊本五福幼稚園内ことばの教室は、向山幼稚園五福ことばの教室として、引き続き同敷地で指導を行なっている。

また「あゆみの教室」を川尻幼稚園で開設するために、指導者の研修や教室の整備等の準備を進めた。

○令和元年度（2019年度）の取組

集団生活に困り感のある熊本市内の年長児を対象に、就学に向けた通級指導教室「あゆみの教室」を川尻幼稚園に開級した。

各園での安全確保と共に、大型遊具点検に伴い、順次、大型遊具の見直しが計画されている。

#### ■幼稚園教職員の資質向上

幼稚園教諭を対象とした教育センターでの研修として、2回の幼児教育研修を行っている（1回は幼小合同研修）。平成28年度からは、公立幼稚園だけでなく、参加を希望する私立幼稚園・こども園等の教諭も対象としている。また、経年者研修において、法定研修である初任者研修、中堅教諭等資質向上研修の他に、指定研修である「15年経験者研修」「初任園2年目研修」「初任園3年目研修」「臨時的任用教職員研修」を行っている。令和元年度（2019年度）からは、初任者研修に加え、初任2・3年目研修、中堅教諭等資質向上研修、臨時的任用教職員研修において、幼児教育専門研修を行い、幼稚園教職員のさらなる資質の向上を目指している。

また、教育委員会による指定研究を行い、今日的な教育課題についての研究実践を通して、本市の幼稚園教育の充実を目指している。

平成29年度 隈庄幼稚園      令和2年度 碩台幼稚園

その他、市立幼稚園研究会、国公立幼稚園研究会等の研修会への参加や園内研修を推進し、保育及び教員の質の向上を図っている。

#### ■ことばの教室

昭和58年に熊本五福幼稚園に幼児言語治療学級を設置し、現在はことばの教室として、構音や吃音など、ことばの課題の改善を図ることで心と体の望ましい成長と発達を促すことを目的に、熊本市在住の年長児を対象として通級指導を行っている。

平成26年度から、指導者を3人増員して碩台幼稚園に拡充し、熊本五福幼稚園の7人と合わせて10人の指導者で実施している。

なお、平成30年度から熊本五福幼稚園は民間移譲となり、ことばの教室については引き続き同敷地内にて「向山幼稚園五福ことばの教室」として市の直営で実施している。

・通級児数 119人（五福83人・碩台36人）（令和元年5月1日現在）

・平成30年度実績 122人（五福86人・碩台36人）

#### ■あゆみの教室

令和元年（2019年）4月に川尻幼稚園にあゆみの教室を開級し、学校教育を見据えた指導を行うとともに、円滑な移行を促すことを目的に、集団参加や人とのかかわりなどに不安のある熊本市在住の年長児を対象として通級指導を行っている。

令和元年度（2019年度）は、3人の指導者で指導を実施している。

・通級児数 22人（令和元年5月1日現在）

(2) 家庭教育支援

■就学前手引書

就学前手引書として「ピカピカ1年生カレンダー～入学へのアプローチ～」を作成し、各学校で行われている就学时健康診断等の機会を利用し、内容を説明すると共に、就学前児童全員に配付し、小学校生活へのスムーズな橋渡しができるように支援している。

その他、熊本市内の幼稚園、こども園、保育所、幼児に関する諸機関にも配付し、幼児教育機関と連携した取組ができるようにしている。